

奈良園芸福祉通信

第1号 2012年1月発行
奈良県園芸福祉ネットワーク
(事務局)
NPO法人奈良グリーンサポートネット
TEL・FAX 0744-52-3661
<http://www.naragreen.net/>

園芸福祉の普及に向けて

園芸福祉とは、障がいのある人もそうでない人も、高齢者も子どもも、社会のあらゆる人々が園芸を通じて生活をより豊かに、より楽しく過ごせる地域社会を作ろうという活動です。

園芸の対象になる植物には発芽、成長、開花、収穫の過程そのものに癒し効果があり、また園芸作業を通じたリハビリ効果も期待できます。

園芸福祉活動については、2001年に三重県で園芸福祉全国大会が開催されたのをはじめに、全国的に広がっています。しかし、奈良県ではこれまでその普及に向けた具体的な動きは見られませんでした。昨2010年には奈良県でNPO法人奈良グリーンサポートネットと奈良佐保短期大学の共催で「初級園芸福祉士養成講座」の開催を実施し28名が参加されました。また、昨年5月から開始している園芸福祉活動を支える人材育成のための「福祉に生かす園芸講座」も10月からは第4期が始まり、今回は定員12名に対し24名の申し込みがあるほどで、園芸福祉についての関心が急速に広がっています。

今後は、これらの講座などで身につけられた知識や技術を福祉の現場で実際に役立てていただくことが必要です。

2011年4月から県内8か所の福祉施設で園芸福祉ボランティアの参加を得て園芸福祉活動を実施していますが、施設や利用者から大変好評を得ています。今後その活動をさらに広げるため、奈良県内で「園芸福祉を実施したい福祉施設」と「園芸福祉活動の実践を希望するボランティア」とで構成する「奈良県園芸福祉ネットワーク」を組織し、双方の期待に応える活動を進めていく予定です。関係される皆様のご協力をお願いいたします。



(施設での園芸福祉活動)

「園芸福祉・園芸療法シンポジウム奈良」が開催されました

奈良県でははじめて園芸福祉・園芸療法に関するシンポジウムが10月23日(土)かしはら万葉ホールにて開催されました。

基調講演では大阪府高槻市で園芸福祉を活用したデイサービスセンターを開設し、園芸療法士としても活躍されている石神洋一氏が「園芸福祉・園芸療法の役割」についてご自分の施設での実際の活動の紹介を含め、福祉における園芸の効果を開説されました。また、事例発表として、社会福祉法人榎原ふれあいの里の吉田壽子氏が施設での園芸福祉の取り組みとその効果について紹介され、三重県園芸福祉ネットワーク代表前川良文氏が園芸福祉の先進県である三重県の事例を、NPO法人奈良グリーンサポートネットからは、今年4月からの園芸福祉施設活動などについて紹介がありました。

当日は、約60名の参加があり、講演や事例報告に対する質疑応答など活発な議論があり、初回ながら、参加者の関心の高さをうかがえる内容となりました。



「福祉に生かす園芸講座」第4期が始まりました

園芸福祉活動を支える人材育成を目的に昨年4月から実施している「福祉に生かす園芸講座」(6ヶ月を1期として実施)の第4期講座が始まりました。毎回定員は12名で募集していますが、今期については、定員の2倍、24名の応募がありました。その結果、せっかく意欲を持って応募された方にはできるだけ参加して頂きたいとの趣旨から、急遽土曜日と日曜日の二班に分かれて講座を開催することとなりました。

11月は、HARBAL 倶楽部仲村あけみさんからハーブの効用とハーブを使ったクリスマスリース作り、午後は、園芸実技講習として花の種まき、先月蒔いて育ってきた花苗の鉢上げ、チューリップなど球根と花の寄せ植えを実施しました。この講座では園芸福祉の基礎から園芸実技、そして園芸福祉活動の企画までを6回に分けて学んでいただき、その後に福祉の現場で活躍される人材を育成するのが目的です。

12月は「障がい者施設での園芸福祉活動」のテーマについて、大阪の「癒しの園芸の会」会員森田雅子さんの講演がありました。施設内で園芸福祉活動を立ち上げた時の苦勞、参加される利用者の笑顔、それを体験した職員の変化、そして施設に活動が定着した経過などの体験を中心に話していただきました。これから始めようとする受講者に大きな励みになったと思います。また福祉ガーデンでは、視覚障がい者の介助体験を受講者がペアになって行いました。匂いや手触りなどをより敏感に感じたようです。

午後は実際に施設などで行う園芸福祉活動プログラムの体験で「ペットボトルのハンギング」と「落ち葉のクラフト」をしました。



園芸福祉ボランティア活動

毎月奈良県内の8施設で園芸福祉活動を実施しています。時間の都合がつかるところへ積極的にご参加ください。

12月(12月の活動はリースづくりです)

- 7日(水) 大宇陀グループホームラガール(大宇陀市)
- 10日(土) ひだまり(橿原市)
- 10日(土) ゆかりの里苑 参加者 11名 ボランティア 2名
- 13日(火) 奈良県総合リハビリセンター 参加者 4名
- 14日(水) 矢田の郷 参加者 10名 ボランティア 3名
- 16日(金) サンライフ明日香 参加者 21名 ボランティア 3名
- 21日(水) 奈良東病院 参加者 6名 ボランティア 3名
- 28日(水) 桃寿苑 参加者 9名 ボランティア 3名

1月の予定

- 11日(水) 13:30~矢田の郷(大和郡山市)
- 14日(土) 10:30~ひだまり(橿原市)
- 14日(土) 13:30~ゆかりの里苑(大和高田市)
- 18日(水) 13:30~奈良東病院(天理市)
- 20日(金) 14:00~サンライフ明日香(奈良市)
- 25日(水) 10:00~桃寿園(橿原市)
- 28日(水) 14:00~大宇陀グループホームラガール

※参加可能な方はご連絡ください



「奈良県園芸福祉ネットワーク」の参加者・団体を募集しています

奈良県内で園芸福祉を取り入れようとする施設や団体とそれに協力する園芸福祉ボランティアを結ぶことによって施設などで園芸福祉活動がより活発になることを目的に「奈良県園芸福祉ネットワーク」を立ち上げました(事務局はNPO法人奈良グリーンサポートネットが担当)。12月20日現在、団体と人が参加されています。

今後、この組織をより充実して、県内の園芸福祉活動がさらに活発になることを期待しています。

ボランティアなどの個人と施設などの団体の参加を募集しています。参加ご希望の場合ご連絡いただければ案内と申込書をお送りいたします。会費は無料です。

かねてから、奈良県内の園芸福祉活動を広げるためには、その情報センター的な役割を担う組織が必要と考えて構想を検討してきましたが、ようやくその形として「奈良県園芸福祉ネットワーク」とその情報誌ができました。情報誌の名前「奈良園芸福祉通信」はまだ仮称で、今後皆様のアイデアなどを取り入れてふさわしいネーミングを考えたいと思います。